

- 家島諸島では、2000年代に、基幹産業の海運業、採石業の低迷から、地域資源を活用した新たな産業として観光業に取組を開始。
- 家島諸島4島は「渚泊推進会議」を設置し、日帰り型観光から宿泊型観光（渚泊）への取組に向けた受入体制を整備。
- 今後は、地域が持続的にビジネスとして実施できる体制を有することができるよう、取組の高度化を目指す。



キーワード

内発的

企業

渚泊

基本情報

- 所在地：兵庫県姫路市家島諸島
- 地域指定：離島
- 団体名：家島諸島都市漁村交流推進協議会
- 主力商品・イベント：観光業
- 活用している地域資源：日帰り型観光や宿泊型観光（渚泊）
- 主な国等の支援策：農山漁村振興交付金（農泊推進対策）

取組の概要

他の組織（大手旅行会社）との連携

- 大手旅行会社や体験サイト・旅プログラムの予約等を一括管理できるサイトを整備。



地元特産品の開発

- 坊勢さばを使ったさば寿司のプロモーション強化。
- 播磨地方の郷土料理、干ガレ弁当等の開発・販売。



究極さば寿司



干ガレ弁当

「家島しまたび」の展開

- 家島諸島内の暮らし・文化や食、自然等の地域資源を活用した着地型体験プログラム（しまたびプログラム）を開発し、「家島しまたび」として展開。

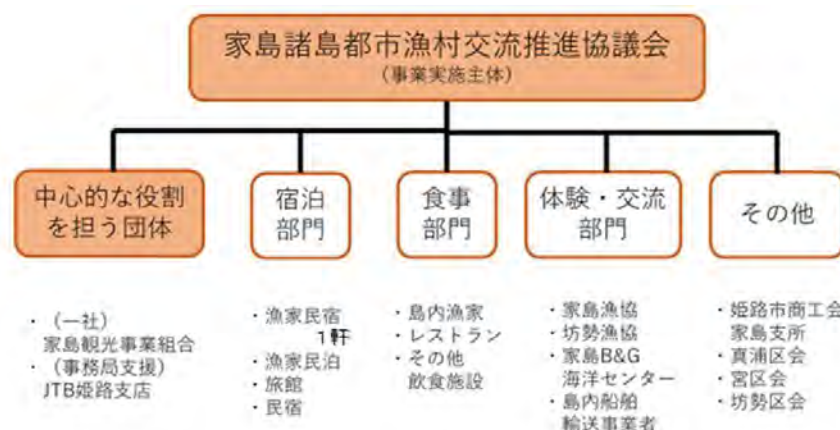


家島諸島の風景

底びき網漁体験de
島ご飯

料理教室

体制図



取組の成果

主 な 指 標	平成28年度実績	令和元年度実績
宿泊料販売額	26,048千円	30,152千円
宿泊者数	3,256人	3,769人

所在地 ▶ 〒670-0000 兵庫県姫路市家島町真浦590-7

連絡先 ▶ TEL:079-325-8777 FAX : 079-287-9911

ウェブサイト ▶ <https://nohaku.net/council/council-1102/>

○コウノトリも住める豊かな自然環境と文化環境の再構築を目指して、湿地環境の保全再生活動や「コウノトリ育む農法」によるお米づくりに取り組むとともに、地域貢献型のコウノトリ・ツーリズムを実施。



キーワード

内発的

ボランティア

コウノトリ

生物多様性

基本情報

- 所在地：兵庫県豊岡市
- 地域指定：中山間地域
- 団体名：兵庫県 豊岡市
- 選定表彰：
H21 生物多様性 日本アワード
保全プロダクト部門 優秀賞
- 主力商品：農林水産物（米）
- 活用している地域資源：
コウノトリ
農林水産物（水稻）



取組の概要

- コウノトリ野生復帰に向けて、農薬や化学肥料に頼らず、多様な生きものを育む「コウノトリ育む農法」を推進し、農産物をブランド化。
- 地元農家やNPO、企業などが連携して湿地の保全活動を実施。
- 環境学習やボランティア体験などを組み込んだ地域貢献型のコウノトリ・ツーリズムを構築。



カエルを捕まえるコウノトリ



コウノトリ育む農法（冬期湛水）



企業による湿地保全活動

体制図

コウノトリ野生復帰推進連絡協議会

【行政】

豊岡市
兵庫県但馬県民局
コウノトリ郷公園
国交省河川事務所
教育事務所

【企業・各種団体】

たじま農協
農業委員会
土地改良協議会
認定農業者
漁協
農林組合
観光連盟
商工会議所
商工会
区長会
校長会

【住民・NPO】

但馬づくり推進協議会
但馬夢テーブル委員会
消費者連
たじま緑のネットワーク
コウノトリ市民研究所
文化協会

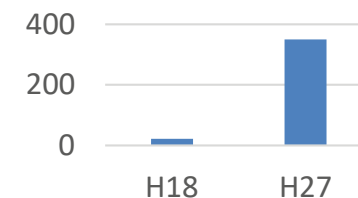
【学識者】

農学者
河川工学者
保全生物学者

取組の成果

- 「コウノトリ育むお米」の売上高は10年間で2,200万円から3億5,000万円に増加。
- 市立コウノトリ文化館の来場者数は約12万人(H16)から約30万人(H28)に増加

「コウノトリ育むお米」売上高
(百万円)



所在地▶兵庫県豊岡市中央町二番四号 豊岡市役所コウノトリ共生課・農林水産課

連絡先▶TEL:0796-23-1111 FAX: 0796-24-2575

E-mail: kounotorikyousei@city.toyooka.lg.jp

ウェブサイト▶<https://www.city.toyooka.lg.jp/konotori/index.html>

○ 500年の歴史ある吉野林業を今後も引き継いでいくため、持続可能な森林づくりと木材需要の拡大に取り組む。



キーワード

内発的

若手の活躍

文化財

林業振興

雇用

基本情報

- 所在地：奈良県川上村
- 地域指定：中山間地域
- 団体名：一般社団法人吉野かわかみ社中
- 選定表彰：
 - H30ディスカバー農山漁村の宝選定
- 主力商品：吉野スギ
- 活用している地域資源：森林
- 主な国等の支援策：山村活性化支援交付金

取組の概要

- 製材加工施設を整備し、原木加工から最終製品まで対応できる体制を構築し、消費者ニーズに合致した商品開発に取り組む。
- 住宅メーカーと連携した吉野杉ツアーの実施により、住宅建設を検討している消費者に吉野杉の活用を販促。



ハウスメーカーとの見学ツアー

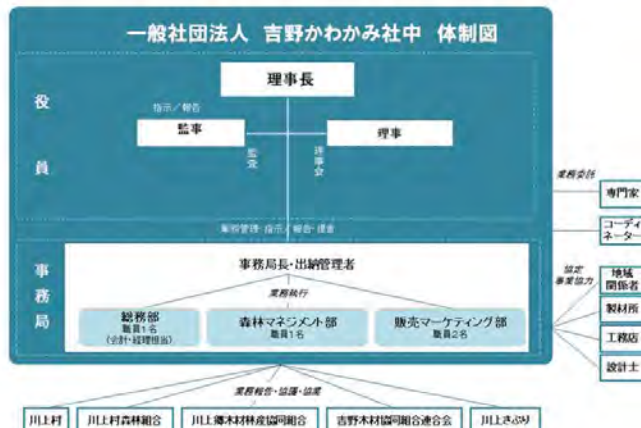


若手による文化財用屋根材の製作研修



吉野スギを活用した新商品の販売

体制図



取組の成果

- 林業・木材業新規従事者は、1人から15人に増加。(H27～H29)
- 木工製品等の売上は、約20万円から約5,500万円に増加。(H27～H29)
- 売上増加に伴い、新たな雇用が創出され、定住促進。
- ホテルや各店舗との取引が広がり、林業従事者の雇用拡大に貢献。

所在地 ▶ 奈良県吉野郡川上村大字迫 1 3 3 5 - 9

連絡先 ▶ TEL: 0746-52-9555 FAX : 0746-52-9556

E-mail: info@yoshinoringyo.jp

ウェブサイト ▶ <https://yoshinoringyo.jp/>

- 昭和54年に7戸のみかん農家で創業し、当初はみかん生産のみであったが、近年は生産から加工、販売まで一貫して行う6次産業で「みかん1個の価値」を高める取組を実施し、中山間地域での雇用の場を創出。



キーワード

内発的

6次産業化

雇用創出

みかん

基本情報

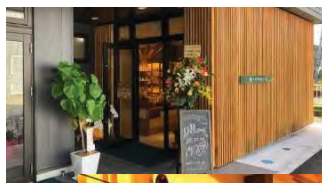
- 所在地：和歌山県有田市
- 地域指定：中山間地域
- 団体名：株式会社 早和果樹園
- 選定表彰：
H27ディスカバー農山漁村の宝選定
H29食品産業優良企業等表彰
「農林水産大臣賞」受賞
- 主力商品：農林水産物（みかん）
- 活用している地域資源：
農林水産物、農地、自然
- 主な国等の支援策：
地域経済循環創造事業
交付金（総務省）



みかんの加工品

取組の概要

- 高品質の有田みかん生産とともに、みかんジュース、ジャム、ゼリー、ポン酢等を開発。
- 社員総出で百貨店等で試飲販売を行い、年間60万人を超える消費者と直接対面。
- 平成30年に試飲や試食ができる直営店を開店。



盛況の直営店

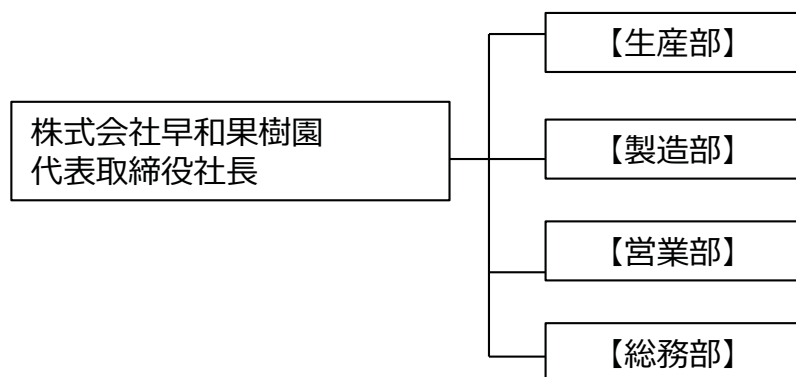


百貨店での試飲等販売



ジュースの生産現場と収穫イベント

体制図



取組の成果

- 売り上げは4.2億円(H23)から9.7億円(R2)と2.3倍に増加。
- 常時60人、臨時80人を雇用するなど、仕事の少ない中山間地域における雇用を創出。



所在地▶和歌山県有田市宮原町東349-2

連絡先▶TEL:0737-88-7279 FAX:0737-88-7218

E-mail:ajiichi@sowakajuen.com

ウェブサイト▶<https://www.sowakajuen.co.jp/>

- 廃校を活用した農家レストラン、宿泊施設や貸し農園などを開設し、都市農村交流を図るとともに、訪日外国人を含む滞在型の旅行誘客にも取り組む。



キーワード

内発的

オーナー制度

都市農村交流

農泊

ICT

基本情報

- 所在地：和歌山県田辺市
- 地域指定：中山間地域
- 団体名：株式会社秋津野
- 選定表彰：
H27ディスカバー農山漁村の宝選定
第16回オーライ！ニッポン大賞グランプリ
- 主力商品・イベント：農家レストラン、
宿泊施設
- 活用している地域資源：農林水産物、廃校
- 主な国等の支援策：農山漁村活性化プロジェクト支援交付金、農山漁村振興交付金（農泊推進対策）

取組の概要

- 「農業の衰退が地域の衰退につながる」危機感から、地元農家・一般住民出資による直売所を開設。加工施設を併設し、みかんジュースを製品化する等、住民主体の6次産業化を推進。
- 廃校舎を活用した農家レストラン、宿泊施設、みかんのオーナー制度を取り入れた貸し農園を開設。
- 訪日外国人を含む滞在型の旅行誘客に取り組むほか、ICTオフィスを新設するなど、ワーケーションの取組も開始。



農家レストラン

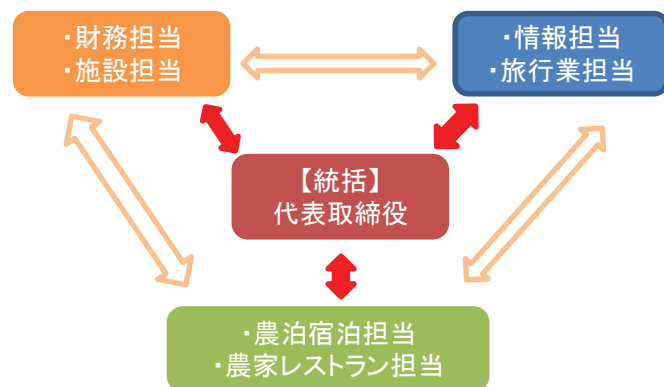


みかんのオーナー制度



ICTオフィスの新設

体制図



取組の成果

- レストランの運営はすべて地域の女性たちが担い、レストランの年間利用者は4万人以上。
- 都市と農村の交流事業を一番の目標に、宿泊者数は年間約4千人（内約650人は欧米オセアニアが中心のインバウンド）。
- 農産物の収穫体験やスイーツづくり、その他の体験では年間約3千人、みかんの樹オーナー制度は年間約450本にオーナーがついている。

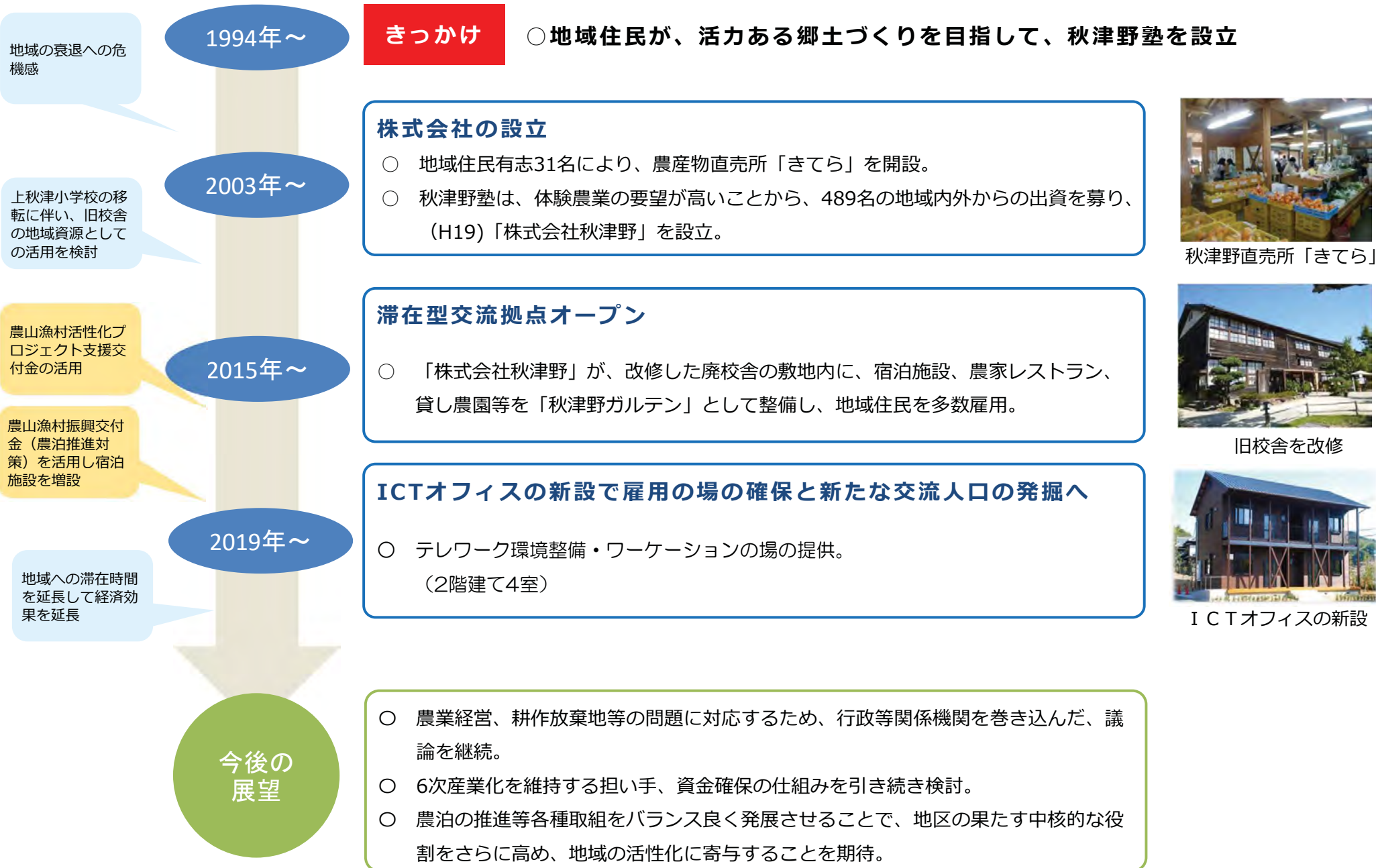
所在地 ▶ 和歌山県田辺市上秋津 4 5 5 8 - 8

連絡先 ▶ TEL:0739-35-1199 FAX : 0739-35-1192

E-mail: info@agarten.jp

ウェブサイト ▶ <https://agri.agarten.jp/index.html/>

【取組のプロセス】



- 食と農に深く関わるJAとして、直売施設を拠点に都市と農村の交流事業を展開し、命を育む食の重要性とそれらを生み出す農業の果たす役割を伝える。



キーワード

内発的

企業

6次産業化

都市農村交流

DMO

基本情報

- 所在地：和歌山県紀の川市
- 地域指定：中山間地域
- 団体名：紀の里農業協同組合
- 選定表彰：
 - H27食と農林漁業食育優良活動表彰「消費安全局長賞」
 - H28「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」受賞
 - H29 SAVORJAPAN認定
- 主力商品：農林水産物（各種）
- 活用している地域資源：農林水産物、直売所
- 主な国等の支援策：
 - H27消費者ニーズ対応型食育活動モデル事業
 - H29～30 農泊推進対策

取組の概要

- 平成12年にめっけもん広場（大型農産物直売所）、平成25年に同広場姉妹店オйнаシティを開設し、既存直売所と合わせ交流の拠点として大きな成果をあげている。これらの直売施設を拠点に、一年を通じて楽しめる多彩なプログラムを取り揃えた体験交流事業を導入。
- 平成30年10月に設立された地域DMO「（一社）紀の川フルーツ観光局」と連携し、さらなる体験プログラムの拡大や、近隣宿泊施設や旅行会社・教育機関等の連携先強化を図っている。インバウンド観光客の拡大を目指し、観光PRや営業活動、受入地の整備を行っている。



親子での米作り体験

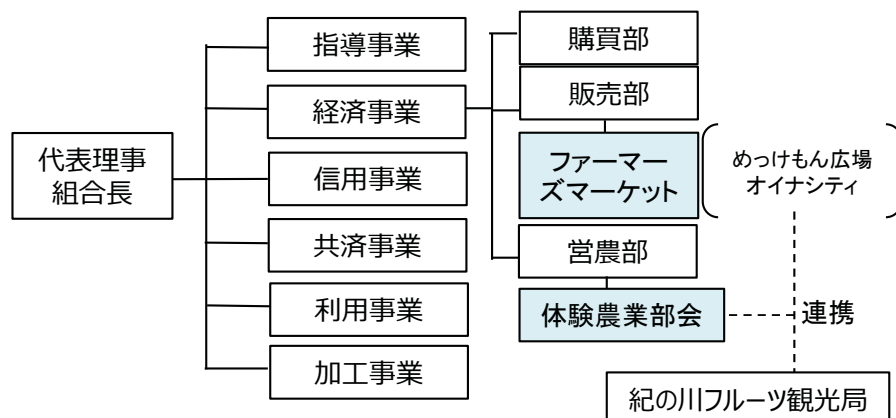


野菜づくり体験



めっけもん広場で食を伝える

体制図



取組の成果

- めっけもん広場の売り上げは2,622百万円(H23)から2,776百万円(H30)へ増加。
- 体験交流プログラムの参加者2,239人(H23)から2,336人(H30)へ増加。



所在地▶和歌山県紀の川市打田1414番地

連絡先▶TEL:0736-77-0810 FAX:0736-77-0377 E-mail:

einou@kinosato.jawink.ne.jp ウェブサイト▶<https://www.ja-kinosato.or.jp/>

○子供達が帰ってきたい・住み続けたいと思う町となるよう、次の世代に継承できる魅力あるまちづくり。

○空き家、耕作放棄地も含めた地域資源を活用し、イノベーション創出。



キーワード

内発的

若者・大学生

地域資源活用

交流・協働

移住

基本情報

- 所在地：鳥取県鳥取市
- 地域指定：中山間地域
- 団体名：いんしゅう鹿野まちづくり協議会
- 選定表彰：
 - H22年手づくり郷土賞 大賞部門
 - H25年地域づくり総務大臣表彰
- 主力商品・イベント：すげ笠御膳
週末だけのまちのみせ、虚無僧行脚
果樹の里山まつり、まちづくり合宿
- 活用している地域資源：空き家、景観、まちなみ、耕作放棄地、文化・歴史
- 主な国等の支援策：
 - 「農」ある暮らし事業 H25～26

取組の概要

- 空き家を食事処「夢こみち」として、地域食材を使った「すげ笠御膳」を提供。
- 鳥取市より「鳥取市移住定住空き家運営業務」を受託し、移住者支援。
- 藍染め暖簾、屋号瓦、風車、蓮畑など地域の団体と協働で景観作りに取組む。
- 地域に似合うイベント「虚無僧行脚」「週末だけのまちのみせ」企画運営。
- 体験メニュー「鹿野ちゃれっじ」作り、空き家活用等4つの大学との連携・交流。
- 果樹の里山協議会に協力して、耕作放棄地を「果樹の里山」へと取組む。
- 果樹の里山まつりを協力して開催。人口60人の集落に2日間で約600人
- 鹿野町内に36ヶ所の継続的空き家活用で移住者受入れ、起業支援を行う。
- 関係人口創出事業を鳥取市と協働で取組む。



食事処「夢こみち」



虚無僧行脚

体制図



取組の成果

- 食事処利用者 約5,000人 (R1)。
- 空き家の継続的活用 36か所 (R1)。
- 移住・定住者 103人 (H25～)。
- 週末だけのまちのみせ来訪者 13,000人 (R1)。
- 果樹の里山、耕作放棄地活用4.5haに。



所在地▶鳥取県鳥取市鹿野町鹿野1809-1

連絡先▶TEL:0857-84-1188 FAX:0857-84-1188 E-mail:info@shikano.org

ウェブサイト▶www.shikano.org

○ 少子高齢化等による地区存続の危機感から、地区機能維持の仕組みを作るため88個の戦略プランからなる比田ビジョンを策定。平成29年に、ビジョン実現のため地域住民を構成員としたえーひだカンパニー株式会社を設立。

島根県
安来市

キーワード

内発的

地域おこし協力隊

ドローン

デマンド交通

直売所運営

移住定住

基本情報

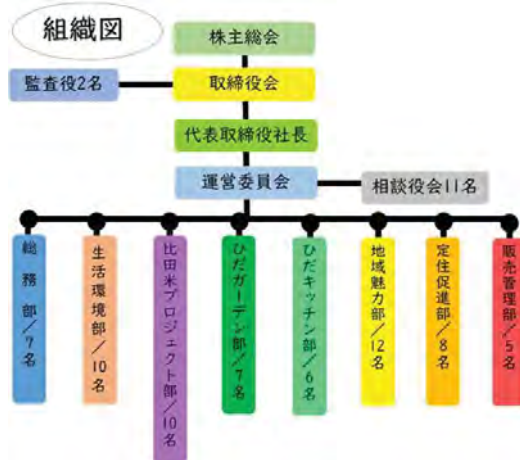
- 所在地：島根県安来市
- 地域指定：中山間地域
- 団体名：えーひだカンパニー株式会社
- 選定表彰：平成30年度中国四国農政局「ディスカバー農山漁村の宝」選定、平成30年度総務省「ふるさとづくり大賞」団体表彰
- 主力商品・イベント：比田米、たたら風(地酒)、たたらラーメン、たたらそば、野菜ドレッシング
- 活用している地域資源：米、小麦、そば、地場産野菜
- 主な国等の支援策：小さな拠点づくり推進事業(島根県)

取組の概要

- 通学・通院や買い物をサポートするデマンド交通事業の実施。
- ドローンを導入して水稻防除受託事業を実施。地元の働く場を創出。
- 地場産野菜を使い、安全安心なドレッシングを開発・販売。地場産米粉によるパンも販売。
- 定住促進として、「えーひだ定住BOOK」を作成。誘致活動を実施。
- 「えーひだ女子会」を結成し、地域食文化の継承などによる地域内外の女性ネットワークづくり。

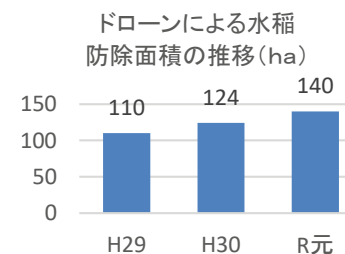


体制図



取組の成果

- ドローンによる水稻防除面積の増140ha (R1)。
- 新規商品増。
- 雇用機会創出。
- 移住人数増。



所在地▶島根県安来市広瀬町梶福留1268番地

連絡先▶TEL:0854-26-4010 FAX:0854-26-4010

E-mail:ikiikihida@dojyokko.ne.jp

ウェブサイト▶<http://www.dojyokko.ne.jp/~ikiikihida/>

【取組のプロセス】

空き家の増加
耕作放棄地の増加
地域活力の低下

2015年～

きっかけ

○比田を未来へつなげるために、将来の目指すべき姿を住民一体で考えるため、「いきいき比田の里活性化プロジェクト」スタート

2016年～

比田地域ビジョンを作成

- 平成28年、住民同士の話し合いやアンケートにより、10年間の比田地区の取組目標（88個）を具体化した比田地域ビジョンを作成
- 平成28年、地域ビジョン実現のため、任意組織え～ひだカンパニー設立



人が変わっても継続する仕組みの必要性

2017年～

持続可能な組織となるために株式会社化

- 平成29年、え～ひだカンパニー株式会社を設立。
- 平成31年、総務省「ふるさとづくり大賞」団体表彰を受賞。



事業の実績づくり
地域ビジョンの再共有

2020年～

小さな拠点づくりに向けて

- 令和2年、島根県の「小さな拠点づくりモデル地区推進事業」のモデル地区に選定
- 令和2年、山の駅「え～ひだ市場」オープン



収益事業の拡大
雇用の創出

今後の
展望

住民の住民による住民のための株式会社のモデル化

- 水稻・小麦・野菜の農業生産を柱とし、6次産業化を拡大するなど安定的な財源を確保しながら、持続可能な組織を目指し、農村の環境維持と雇用の創出を図る。
- 地域運営組織の設立や運営のノウハウを他地域へ普及していくとともに、地域内外へ比田の取り組みの認知度を高めていく。



○厄介者であったイノシシを地域振興の視点で捉え、農家自ら狩猟免許を取得し、加工処理・ジビエ販売を担う組織として前身の「おおち山くじら生産者組合」を設立。平成29年に更なる体制強化のため株式会社化。



キーワード

内発的

Iターン

ジビエ

6次産業化

食育

移住定住

基本情報

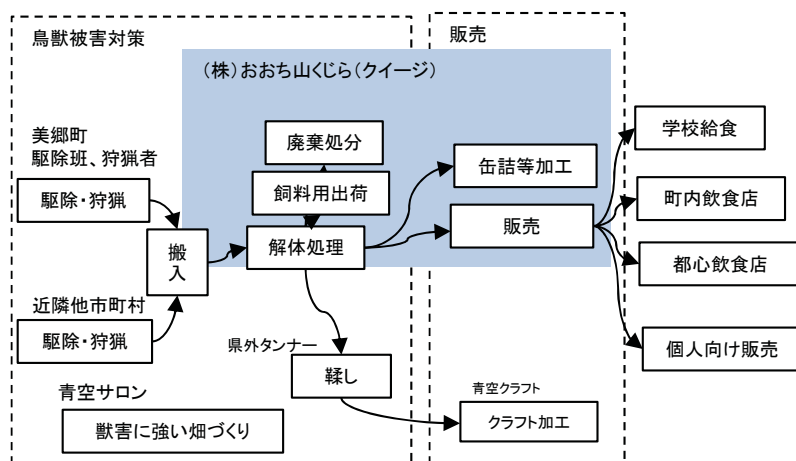
- 所在地：島根県邑智郡美郷町
- 地域指定：中山間地域
- 団体名：株式会社おおち山くじら
- 選定表彰：
 - H24年鳥獣被害対策優良活動(団体の部)
 - 農林水産大臣賞
- 主力商品・イベント：
 - イノシシ肉、ポトフやカレーなどの缶詰
 - おおち山くじらフェア
- 活用している地域資源：
 - イノシシ

取組の概要

- 有害鳥獣として町内で捕獲されるイノシシの約7割を集約。専用の施設で食肉処理し、「おおち山くじら」という地域ブランド名で全国に販売。
- 猪肉の缶詰（ポトフやカレーなど）を製造する6次産業化を行っている。イノシシの内臓はペットフード商品の原料などに活用している。
- イノシシの皮をレザー加工。地元婦人会がレザークラフト商品づくりを行うことで女性・高齢者活躍の場を創出。
- 次世代を担う子供たちへ自然との共存・共栄の大切さを伝える食育活動を実施。



体制図



取組の成果

- 捕獲と処理を分業をすることで、捕獲者の手間が軽減、町民100余名が狩猟免許を所持。
- 常勤スタッフ4名全員が県外からのIターンで移住、定住。
- 地域住民をパートタイマーとして5名雇用創出。
- マスメディアに取り上げられる機会も多く、視察者数や講演依頼も多数。

所在地 ▶ 島根県邑智郡美郷町乙原363

連絡先 ▶ TEL:0855-75-0887 FAX:03-6745-5739 E-mail:info@yamakujira.jp

ウェブサイト ▶ <http://yamakujira.jp/>

農作業のストレス軽減効果を見える化した、農業セラピー（アグリヒーリング）の新ビジネス創出を構想



キーワード

内発的

大学医学部

農村セラピー

基本情報

- 所在地：岡山県岡山市
- 地域指定：—
- 団体名：有限会社スコレー、順天堂大、
（株）ヤンマー、農業生産者
- 主力商品・イベント：
果樹、洋ラン、農業体験
- 活用している地域資源：
農園
- 主な国等の支援策：
岡山市ヘルスケア産業創出・育成支援
事業（H29年度）

取組の概要

- ・ 2017年、果樹や洋ラン栽培のスコレーなど岡山
県内の農業生産者が、順天堂大、ヤンマーなどと連
携して、農業セラピーの実証実験を実施。
- ・ 洋ラン・地域農業者圃場での農村体験前後で参加
者の唾液を分析、大半の被験者でコルチゾール平均値
が約半分まで減少。
- ・ 順天堂大は、ストレス軽減の実証データを提示する
農業体験プログラムを作成し、企業向けメンタルリフ
レッシュサービスを提供する。（複数地域で進行中）
- ・ 2018年11月、JA全中と順天堂大が実証調査を実施（⇒「取組の成果※1」参照）
練馬区の体験型農園の利用者40人を対象に、収穫作業の前後に唾液成分を測定し、
気分に関するアンケートも実施



（写真：スコレー）

（写真：順天堂大）

体制図

○連携して実証

（有）スコレー

洋ラン等栽培

順天堂大学

ホルモン計測技術 ※2

（株）ヤンマー

イチゴの移動栽培装置

農業生産者

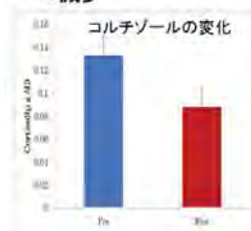
※2 唾液内のストレスに関するホルモンのコルチゾール、
幸福度を表すホルモンのオキシトシン等を計測

取組の成果※1

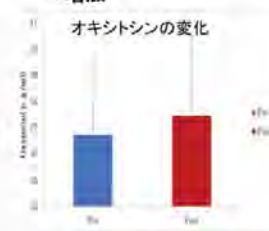
- ・ 農作業を行うことによ
って、ストレス解消、
幸福度が向上

※このほか、順天堂大は、
農業・農村体験によるスト
レス軽減の期待値を予測す
るメソッドを研究

ストレスに関するホルモン
⇒減少



幸福度を表すホルモン
⇒増加



（データ：順天堂大）

所在地 ▶岡山県岡山市北区御津吉尾447

連絡先 ▶TEL: 086-724-4390 FAX: 086-724-1748 E-mail:

ウェブサイト ▶<http://www.scre.jp/company.html#access>

○人と自然をテーマとする地域総合商社として、起業人材の育成、森林ブランドの林水産物販売、福祉事業等を展開。



キーワード

内発的

イターン

人材育成

地域商社

森林ブランド

基本情報

- 所在地：岡山県西栗倉村
- 地域指定：中山間地域
- 団体名：エーゼロ (株)、※ (株) 西栗倉・森の学校の経営管理業務等も引継。
- 主力商品・イベント：研修、森のうなぎ、森のジビエ等
- 活用している地域資源：森林、うなぎ、ジビエ
- 主な国等の支援策：地方創生推進交付金他（内閣府）農林水産業みらい基金



取組の概要

- 2015年10月、西栗倉村で、人や自然の本来の価値を引きだし、地域経済を醸していくことを目的に設立。現在は、北海道厚真町、滋賀県高島市に事業展開。
- ◆ ローカルベンチャー支援事業（西栗倉村・厚真町）
 - ・ 起業をめざす地域おこし協力隊や新規事業への支援、コーディネート
 - ・ ローカルベンチャースクール：西栗倉村と厚真町で提供する移住×起業を促進
- ◆ 不動産関連事業（西栗倉村）
 - ・ 古民家の改装やシェアハウスの運営、村営住宅の管理を受託し、移住者、起業家などの方に西栗倉村での暮らしをサポート
- ◆ 自然資本事業（西栗倉村）：森のうなぎ、森のジビエ、ふるさと納税事業
- ◆ 福祉事業（高島市、西栗倉村）：100%子会社を設立し、滋賀県高島市における就労支援事業、西栗倉村にて福祉分野の地域おこし協力隊のサポート等 他

体制図

エーゼロ (株)

- ・ 地域人事部事業 採用支援、移住・起業支援、
- ・ 地域営業部事業 ふるさと納税、地域CRMアプリ開発運営
- ・ 不動産事業 不動産仲介・売買・管理、公共施設管理等
- ・ 自然資本事業 養鰻業、獣肉加工、農業など
- ・ 福祉関連事業（就労支援B型、グループホーム）



ベンチャースクール



森のうなぎ



森のジビエ

取組の成果

- スタッフ約40名（社員25名、パート15名）
- 売上約3.5億円
- 関連会社：株式会社西栗倉・森の学校（約30名、売上約4億円）



不動産関連事業

所在地▶岡山県英田郡西栗倉村影石895（旧影石小学校内）

連絡先▶TEL:0868-75-3058 FAX: E-mail:

ウェブサイト▶<https://www.a-zero.co.jp/>

- 木質バイオマスを核として、豊富で多様なバイオマスエネルギー利用、バイオマス産業観光・学習推進による地域ブランドの向上。



キーワード

内発的

木材産業

バイオマス

観光

基本情報

- 所在地：岡山県真庭市
- 地域指定：中山間地域
- 団体名：真庭バイオマス産業都市推進協議会
- 選定表彰：
 - ジャパン・レジリエンス・アワード2016 先進エネルギー自治体大賞金賞（準グランプリ）、バイオマス大賞グランプリ H25バイオマス産業都市選定
- 主力商品・イベント：木質チップ、バイオマスツアー真庭
- 活用している地域資源：バイオマス
- 主な国等の支援策：森林整備加速化・林業再生基金

取組の概要

- 未利用や産廃処理されていた木材を資源として有効活用するために、官民一体となった「木材資源安定供給協議会」を設立。木材購入費のうち、山林事業者へ利益還元する仕組みを構築。
- 地域バイオマスを活用した発電事業を実施。今後は、地域内への電力供給を広げていき、エネルギーの地産地消を展開していく予定。
- また、エネルギー以外の利用として、バイオマスリファイナリー事業も進めているほか、バイオマス利活用の取組を学べる「バイオマスツアー真庭」が開催されるなど、市の様々な産業を巻き込んだ取組を展開。

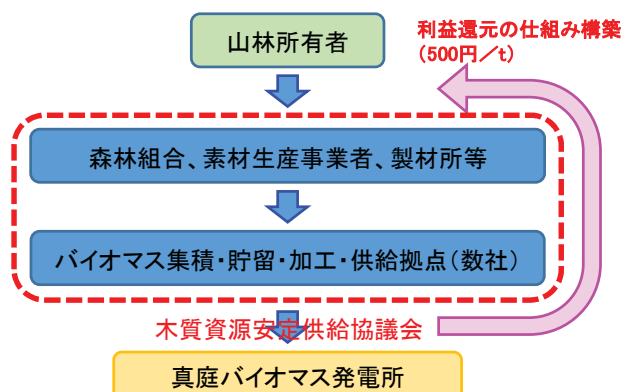


集積基地

真庭バイオマス発電株式会社
〈地域関係団体で構成する新会社〉

バイオマスツアー

体制図



取組の成果

- 約200人の林業・木材関係事業者の雇用拡大
- 経済効果 売上約23.2億円、石油代替 約25.1億円相当
- 年間1億円以上の処理費をかけていた未利用木材が有価で取引
山林事業者への還元見込額は、約1.6億円
- 年間1,000人以上のバイオマスツアーの参加

所在地▶岡山県真庭市久世2927-2 真庭市産業観光部林業・バイオマス産業課
 連絡先▶TEL:0867-42-5022 FAX:0867-42-3907
 E-mail:biomass@city.maniwa.lg.jp
 ウェブサイト▶http://www.city.maniwa.lg.jp

【取組のプロセス】

国内生産財の価格
低迷
木質副産物の利活
用を検討

1993年～

きっかけ

○ 地域内の若手リーダーが中心となり、「21世紀真庭塾」を結成

木質資源活用産業クラスター構想を設立

- 2000年に木質資源活用産業クラスター構想を設立。着実に進めるため、森林組合の参画を得て、体制強化
- 2009年に真庭市内木材産業関連団体により、「真庭バイオマス集積基地」が稼働開始



固定価格買取制度
の開始

2000年～

真庭バイオマス産業都市構想を策定

- 2013年真庭市がバイオマス産業都市に選定され、「真庭バイオマス産業都市構想」を策定。バイオマス利活用の取組を真庭市のプロジェクトに位置づけて推進
- 2013年「真庭バイオマス発電株式会社」、「木質バイオマス安定供給協議会」が発足



2013年～

真庭バイオマス発電所が稼働開始

- 2015年より「真庭バイオマス発電所」が稼働開始
- 2016年より、真庭市、一部民間企業への電力供給を開始
- 約200人の林業・木材関係事業者の雇用拡大、経済効果 売上約23.2億
- 年間1,000人以上のバイオマスツアーの参加



SDGsの推進。木
材産業を中心とし
た更なる発展に向
けて

2015年～

「エネルギーの森」構想の実現へ

- 広葉樹や早生樹への展開により、木質バイオマス発電コストの低減、里山の活性化、地球温暖化防止に貢献
- インバウンド強化、定住を意識した体験型ツアーを創出



今後の
展望

○ 115年余り続いた「阿波村」は、平成17年の合併によりその歴史に幕を閉じた。合併後は人口が急減。住民自治協議会事業のモデル地区指定を受け取組を開始。自然・暮らしを後世に引継ぐ決意として「あば村宣言」発表。



キーワード

外部との連携

地域おこし協力隊

6次産業化

都市農村交流

再生可能エネルギー

基本情報

- 所在地：岡山県津山市
- 地域指定：中山間地域
- 団体名：あば村運営協議会
- 選定表彰：
H27年過疎地域自立活性化優良事例表彰
- 主力商品・イベント：氷温米、味噌、餅ふるさと祭り、星空まつり、まるごとかじり市
- 活用している地域資源：農林水産物、森林、廃校、古民家・空き家、文化・歴史、景観、バイオマス、自然（山、川など）
- 主な国等の支援策：
都市農村共生・対流等交付金
農山漁村振興交付金（都市農村共生・対流）

取組の概要

【ローカル・アバノミクス（3本の矢+1）】

- 第1の矢 住民出資の合同会社を設立し、J A撤退後のガソリンスタンドの存続や小さな拠点形成の取組み。
- 第2の矢 地域の食のブランド化（あば村ブランド）に向けた新商品の開発・販売と後継者の育成。
- 第3の矢 都市農村交流人口の拡大や移住・定住促進の取組み。
- 第4の矢 小水力発電事業の事業化による地域の持続的運営。



小さな拠点の中核、あば商店



移動販売車

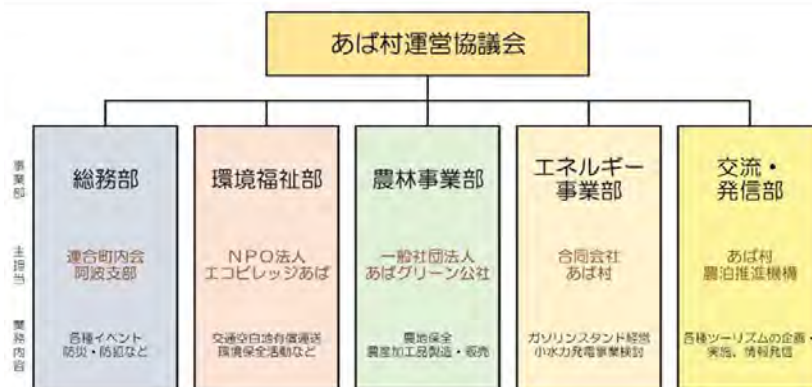


味噌造り



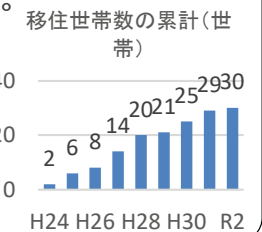
あば温泉

体制図



取組の成果

- 過疎地有償運送事業利用者の増 89人/月（H30年度）。
- あば商店・ガソリンスタンドの売上 35,000千円/年（H30年）。
- あば村ブランド商品の増。
- 移住・定住者の増 30世帯62人。
（H24.2～R2.3、延べ人数）



所在地▶岡山県津山市阿波1220番地

連絡先▶TEL:090-7502-2456 FAX:0868-46-2002 E-mail:info@abamura.com

ウェブサイト▶abamura.com

○近隣の小学校が閉校し、過疎化・高齢化傾向が一層危機的状況に。新たな行事や各種農業施策を模索するなか、地域おこし協力隊などの協力により外部視点を取り入れ、移住者増を目的に据えた村おこし活動を開始。



キーワード

外部との連携

移住者

移住・定住

学生団体

空き家対策

基本情報

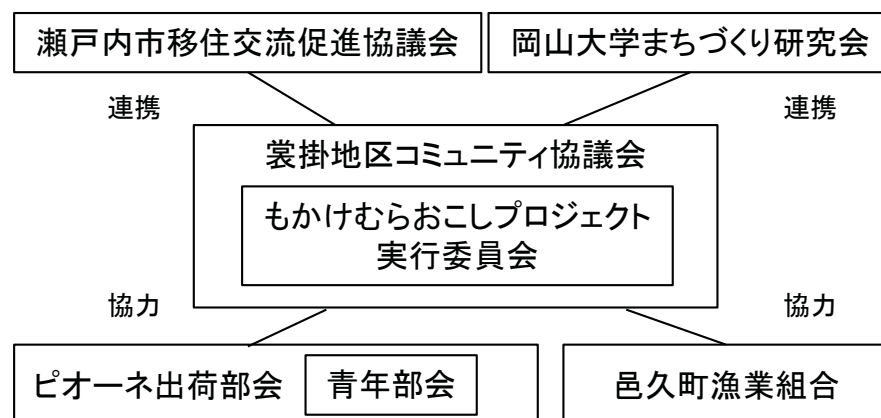
- 所在地：岡山県瀬戸内市
- 地域指定：中山間地域
- 団体名：裳掛地区コミュニティ協議会
- 選定表彰：
 - H28年地域づくり推進賞
 - H29年岡山県知事賞
 - R2ディスカバー農山漁村の宝選定団体
- 主力商品・イベント：
 - ピオーネ、牡蠣などの一次産業、加工品
- 活用している地域資源：
 - 農林水産物、文化・歴史
- 主な国等の支援策：
 - 農村集落活性化支援事業（H27～R元）

取組の概要

- 地域の空き家や遊休農地を独自に整備・中間管理し、移住希望者へ紹介。
- 移住相談会への出展、農業体験の受入れ、地域の行事での大学生ボランティアの受入れなど、様々な交流機会を創出。
- 地域内の道の駅を活性化するための映画上映イベントを開催し、移住者と住民が出店するマルシェを同時開催するなど、活動の継続化を図る取組みも実施。

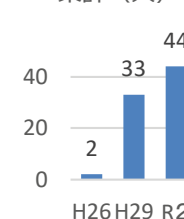


体制図



取組の成果

- 空き家・遊休地整備（空き家整備20余軒、農地復元3ha強）。
- 外部との交流受入れ（移住者受入延べ18世帯40名程度）。
- 新規就農者等確保（移住者のうち、4世帯が農業従事）。
- 相談会等への出展（JOIN移住交流&地域おこしフェア6回など）。
- 映画上映イベントにおける地域内外の交流（来場数300名強）。

移住者数の
累計（人）

所在地▶岡山県瀬戸内市邑久町尾張300-1（瀬戸内市役所企画振興課）

連絡先▶TEL:0869-22-1031 FAX:0869-22-3304 E-mail:info@mokake.com

ウェブサイト▶http://www.mokake.com

○人口減少とともに産業は衰退、買い物する場所さえもなくなっていった。地域の将来をどうデザインすれば誇りを持ち住民が安心して暮らせるかが最重要課題となり、ビジョン策定委員会を立ち上げ地域の将来像を住民自ら描いていった。



キーワード

内発的

ボランティア

企業連携

都市農村交流

スマートシティ

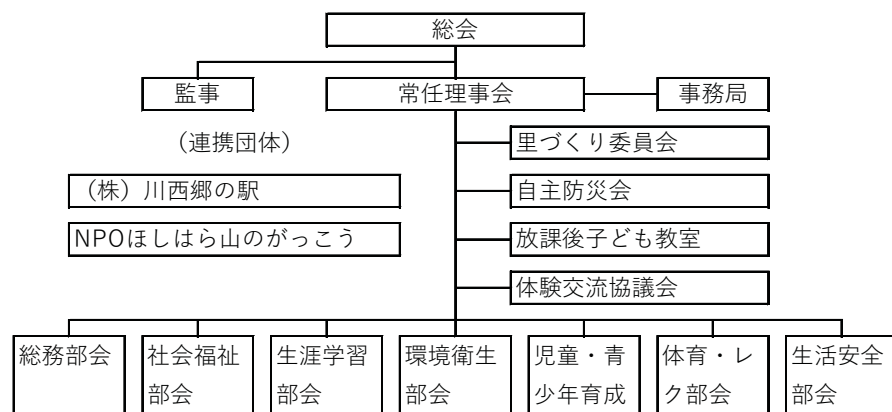
基本情報

- 所在地：広島県三次市
- 地域指定：中山間地域
- 団体名：川西自治連合会
- 選定表彰：
H29年度 手作り郷土賞選定証
(国土交通省)
- 主力商品・イベント：
ライド&ウォーク
- 活用している地域資源：
川西郷の駅
- 主な国等の支援策：
農村集落活性化支援事業（H27～R元）

取組の概要

- 「川西郷の駅」がオープン（H29年）し、コンビニ、農産品や加工品の直売所、軽食食堂の部門がスタート。今後、防災・福祉・体験交流等複合的機能を有する施設に成長できるよう調査・研究中。一つの取組みとして、H30年度に瀬戸内サイクリンググループと連携した「川西よりみちライド&ウォーク」のイベントを開始。
- H30年度から、広島県・三次市・マツダ株式会社と連携して、スマートフォンアプリを活用した地域内交通サービスを開始。
- R元年度から、マツダ株式会社他多くの企業とコンソーシアムを組み、地域版スマートシティのモデル事業を開始。
- 連携団体のほしはら山のがっこう・川西郷の駅とともに農泊推進事業を受け、食の魅力発見や農家民宿開業支援などの研究を開始。
- R2年度から、スマートシティモデル事業において、情報の受発信を可能とする川西暮らしアプリや遠隔健康教室などの実証実験を開始。

体制図



取組の成果

- 「川西郷の駅」は、1日平均800人の来店があり賑わいを見せている。
- ライド&ウォークの参加者は60人（R元）。
- 地域内交通サービスの利用者は220人（R元）。
- 移住者（U・J・I）32名（H27～R2）。



所在地▶広島県三次市三若町2651-1

連絡先▶TEL:0824-69-2526 FAX:0824-69-2526 E-mail:kawanishi@m-city.jp

ウェブサイト▶

○ 高齢化・過疎化問題の対応として、体験交流型観光を推進し、都市の学生と島の住民が交流を深め、地域の活性化や経済効果に貢献することを目指し協議会を設立。



キーワード

外部との連携

商工会

住民

民泊

伝統の継承

基本情報

- 所在地：広島県豊田郡大崎上島町
- 地域指定：中山間地域
- 団体名：大崎上島海生体験交流協議会
- 主力商品・イベント：
 - まるごと島体験
- 活用している地域資源：
 - 伝統文化、漁業、農業、アウトドア、伝統工芸
- 主な国等の支援策：
 - 離島活性化交付金、町補助金

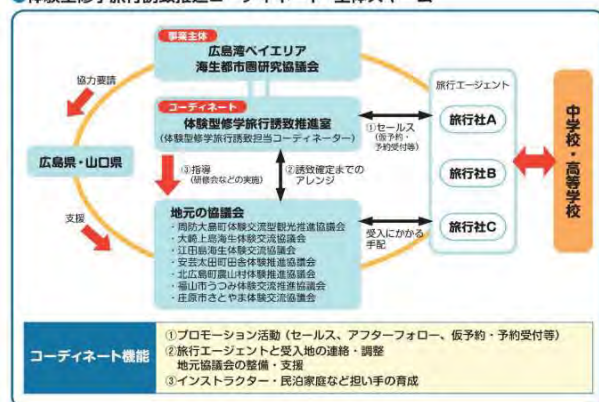
取組の概要

- 島民と都市の学生の人生に大きく影響を与える出会いを願い、H25年度より民泊を利用した体験型修学旅行を誘致。
- 第二の故郷として再び来島するきっかけづくりとして、「心豊かな田舎暮らし」を体験するための伝統文化・漁業・農業・アウトドア・伝統工芸・もの作り体験など、まるごと島体験メニューを提供。



体制図

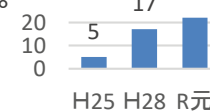
● 体験型修学旅行誘致推進コーディネート 全体スキーム



取組の成果

- 体験型修学旅行による来島者増 22校・3,252人（R元）。
- 民泊受入登録数の増 160軒（R元）。
- 体験型修学旅行受入による経済効果増 59,511千円（R元）。

体験型修学旅行
受入校数の推移
(校)



所在地 ▶ 広島県豊田郡大崎上島町東野6625番地1
 連絡先 ▶ TEL:0846-65-3123 FAX:0846-65-3144
 E-mail:shinko01@town.osakikamijima.lg.jp
 ウェブサイト ▶

○主産業である農業の経営環境の悪化等により、若者は地域外へ流出。状況打破のため住民主導で取り組む夢のあるまちづくり実行計画を策定。農業や地域資源を活用しながらむらづくりを進めるため活動を開始。



キーワード

外部との連携

学生ボランティア

地域おこし協力隊

移住・就農

6次産業化

企業等連携

基本情報

- 所在地：徳島県阿南市
- 地域指定：中山間地域
- 団体名：NPO法人加茂谷元気なまちづくり会
- 選定表彰：

H29年豊かなむらづくり表彰事業

農林水産大臣賞

H28年徳島県優良農村集団知事表彰

- 主力商品・イベント：大学生の農業体験受入（毎年80名）、新・農業人フェア出展（大阪、東京）、体験ツアー実施、農産物の店舗内産直市出荷、休校中の小学校を利用した音楽とマルシェのマッチングイベント（かもかもフェスタ）ほか

- 活用している地域資源：移住・就農者用 に、空き家・空き農地・空きハウスの斡旋
地域の農産物の販売支援

- 主な国等の支援策：地域おこし協力隊、あわの農山漁村（ふるさと）魅力創生事業（活性化モデル事業早期ビジョン実現タイプ）、ふるさと農山漁村支援事業

取組の概要

- 都市部（東京・大阪）での就農誘致イベントに住民が参加し、地域を自らPR。
- 短期体験ツアーを開催し、空き家・空き農地を活用した農作業体験。
- 関東の大学生を農業インターンシップとして大規模に受入れ。
- 移住希望者には生活面から営農指導までトータルサポートを行い、移住者を毎年受入れ。
- 関西や県内スーパーと提携し、農産物等を店舗内産直市で販売し、手数料収入で活動資金を確保。
- 休校中の小学校を利用して、音楽とマルシェのマッチングイベント（かもかもフェスタ）を開催。
- 地域おこし協力隊2名を受入れ地域活性化に寄与。



取組の成果

- H27年以降、移住者は毎年増加（18組、72名）。
- 大学生のインターンシップを毎年継続。
- 店舗内産直市販売の売上高、会員数は毎年増加、地域に活気がでている。
- 移住者グループを中心としてカフェ・レストラン、パン屋、コーヒー豆店、夏場カフェ店などが営業し、賑わいづくりに寄与。
- 移住者が中心となって、かもかもフェスタ、ほっこり十町市開催で地域活性化。

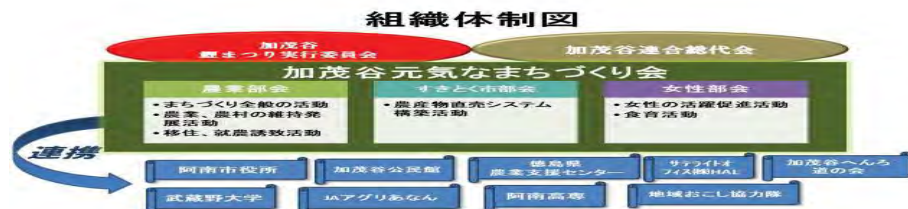
所在地▶徳島県阿南細野町中上17

連絡先▶TEL:0884-25-0608 FAX:0884-25-0608

E-mail:Yamashita-27@mc.pikara.ne.jp

ウェブサイト▶<http://kamodani.com/>

体制図



○ICT システムを活用して、料理を彩る葉っぱを出荷。女性や高齢者が活躍。



キーワード

内発的

高齢者

女性

農業

ICT

基本情報

- 所在地：徳島県勝浦郡上勝町
- 地域指定：中山間地域
- 団体名：株式会社いろどり
- 選定表彰：■2002年アントレプレナー・オブ・ザ・イヤー日本大会特別賞・2002年地域活性化貢献特別賞■2003年日本ソフト化大賞■2005年日経情報化大賞 CANフォーラム賞■2005年フィランソロピー大賞特別賞■2009年日本マーケティング大賞奨励賞■2012年IT Japan Award 2012準グランプリ受賞
- 主力商品・つまもの生産販売・人材育成事業
- 活用している地域資源：野山の季節の葉や花、山菜など
- 主な国等の支援策：1998年通産省「地域総合情報化システム整備事業」・2010年内閣府「地域社会雇用創造事業」・上勝町「起業人材確保育成支援事業」

取組の概要

- 日本料理を彩るつまものを栽培・出荷・販売。
- ICT技術の活用により、最新の受注情報を確認しながらの作業を可能に。
- インターンシップ事業・農業体験による彩農業後継者育成と移住者増の取組み。



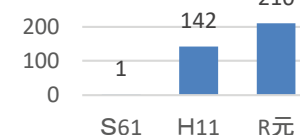
体制図



取組の成果

- つまものの販売による年商は約2億4,000万円（令和元年）。
- 町が有名になり視察・観光客が増加。映画化された。
- 町内移住者の増加。中には新規ビジネスの起業者も。
- 上勝町がSDGs未来都市に選定される一因となった。

彩(いろどり)売上高の推移(百万円)
※農協の彩部会の売上のみ計上



所在地▶徳島県勝浦郡上勝町大字福原字平間71-5

連絡先▶TEL:0885-46-0166 FAX:0885-46-0577 E-mail:info@irodori.co.jp

ウェブサイト▶www.irodori.co.jp

- 高松市内商店街で五名地区を紹介する展示会への出展を契機に、特産品や加工品を販売する「ふるさとの家」の運営開始。
五名小学校の閉校、JA、市役所等中心地が衰退していく中、平成25年小学校跡地利用検討と活性化のため協議会設立。



キーワード

内発的

移住者

ジビエ

移住・定住

6次産業化

基本情報

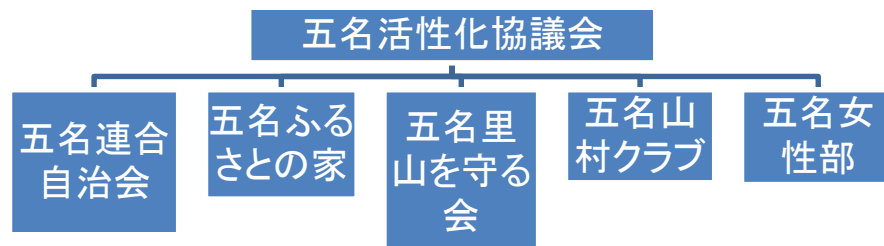
- 所在地：香川県東かがわ市
- 地域指定：中山間地域
- 団体名：五名活性化協議会
- 選定表彰：
H27全国過疎地域自立促進連盟会長賞
- 主力商品・イベント：
イノシシ肉、薪、炭
五名3大まつり(五名ふるさとまつり等)
- 活用している地域資源：
野生鳥獣、森林
- 主な国等の支援策：
地域創生推進交付金（H28～H30）
香川県里山資源活用推進事業(H27～R元)

取組の概要

- 里山整備に伴って出る木材を、薪や炭などに加工して販売するとともに、獣害対策で捕獲したイノシシを食肉加工し、「五名ジビエ」として販売。
- 空き家となった古民家を移住者向けの体験宿泊所として運営するほか、五名マップの作成や子供たちを対象とした体験イベントなど、地区の魅力を伝える取組を実施。
- 「新五名ふるさとの家」をオープンさせ、地区の魅力の発信拠点として活用。

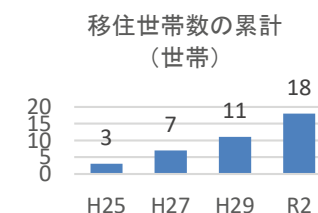


体制図



取組の成果

- 「五名ジビエ」は、東かがわ市のふるさと納税返礼品として好評。
- 人口300人程度の地区に18世帯41人余りの移住者（R2年）
- 「新五名ふるさとの家」は移住者が責任者となり運営。



所在地▶香川県東かがわ市五名1400
 連絡先▶TEL:0879-29-2832 FAX:0879-29-2832
 E-mail:gomyou.activatept@gmail.com
 ウェブサイト▶http://www.gom-you.com

○2004年（平成16年）、地域協同組合を設立。柑橘を中心に、加工品を含めたブランド化を推進。福祉事業等の多角化により女性が活躍する雇用の場を創出。



キーワード

内発的

企業

協同組合

6次産業化

移住・定住

農福

地域コミュニティ

海外連携

基本情報

- 所在地：愛媛県西予市
- 地域指定：中山間地域
- 団体名：地域協同組合無茶々園
- 選定表彰：

H28年農林水産祭むらづくり部門天皇杯

- 主力商品・イベント：
- 柑橘類、加工品、海産物
- 活用している地域資源：

段々畑
（農業遺産、文化的景観）
旧狩江小学校

- 主な国等の支援策：
- 果樹経営支援対策事業



取組の概要

- 地域の生産者グループとして創業し、国内有機農業の先駆けとして、柑橘類の栽培管理・販売システムの確立、加工品等のブランド化により生産者数・事業規模を拡大。
- 漁業者と連携して、山と海の環境保全活動の実践、真珠や水産物等の加工・販売。
- 女性が活躍する福祉事業や配食サービス、段々畑の観光等、雇用を創出。
- 新規就農者の受け皿となる農業生産法人の設立、運営。



無茶々園の加工品

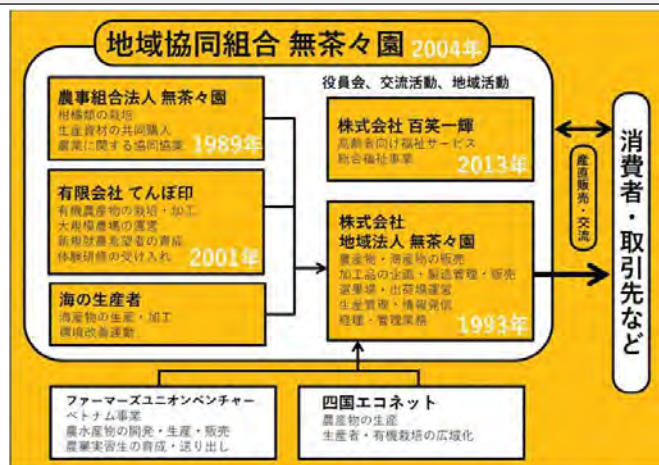


福祉事業での女性の活躍



新規就農者の生産法人・てんぽ印

体制図



取組の成果

- グループの売上は11億円超（R1）。
- 生産販売事業では新規雇用者の7割が県外から社員58名で平均年齢39歳（福祉以外）。
- 福祉事業では女性中心に63名が活躍（R2）。



所在地▶愛媛県西予市明浜町狩浜2-1350
 連絡先▶TEL:0894-65-1417 FAX:0894-65-1638
 E-mail: muchachaen@muchachaen.jp
 ウェブサイト▶https://www.muchachaen.jp

【取組のプロセス】

農業や化学肥料の使用を前提とした近代農業へ疑問

1974年～

きっかけ

○当時の青年農業者3名が農地13aを借り受け、伊予柑の有機栽培を開始

消費者等と直接結びついた産直販売に活路

1977年～

有機農業事業が拡大・成長

- 1977年（昭和52年）、「無茶々園」ブランドの伊予柑を期待の価格で販売。無茶々園の取り組みが一躍全国に知られ、一定の栽培体系確立。
- 1989年（平成元年）に農事組合法人無茶々園、1993年（平成5年）に株式会社地域法人無茶々園を設立。消費者や生協などと直接結びついた産直販売を拡大。



果樹経営支援対策事業を活用して改植や園地整備に取り組む。

2001年～

地域協同組合無茶々園設立

- 2001年（平成13年）には、大規模有機農業を実践する直営農場として「有限会社てんぼ印（旧名称：ファーマーズユニオン北条）」を設立。また、「四国エコネット」を立ち上げ、明浜町外にも生産者を拡大。
- 2004年（平成16年）にグループをまとめる「地域協同組合無茶々園」を設立。



地域の高齢化率が約5割（平成22年）となる

2015年～

販売事業の拡大とともに、福祉事業等にも参入

- 2013年（平成25年）には、福祉事業を行う「株式会社百笑一輝」を設立。女性のホームヘルパーなど約60名が活躍している。
- 2016年（平成30年）、廃校になった狩江小学校内に事務所を移設。
- 2019年（令和元年）には生産者約200名、個人顧客約1万人、法人顧客約300社、農業産出額は9億円超となる。



地域の小学校の閉校や農家の高齢化で地域の過疎化進行が顕在化する

国の事業を活用して出荷場・選果設備の整備を計画中。

今後の展望

持続性を高め、地域の課題解決に取り組む組織へ

- 一次産業主体で過疎化の進む中山間地において、柑橘の有機栽培化をきっかけとして、地域の産業と暮らしを自ら確立できるように取り組んできた。
- 販売先と連携して地域の基幹産業である柑橘栽培を維持していくほか、新規就農者の育成、海外（ベトナム）との連携、都市との交流推進などを通して地域の持続性を高めていく。



○平成23年、「株式会社いとしのいとしま」を設立。SNS等を通して水産業が抱える課題を伝え、「地魚BANK」の会員から資金・アイデア等を集め、新サービスを生み出し課題を解決し、地魚の魅力を伝える取り組みを展開。



基本情報

- 所在地：福岡県糸島市
- 地域指定：平地農業地域
- 団体名：株式会社 いとしのいとしま
- 選定表彰：R2年「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」全国選定
- 主力商品・イベント：地魚海鮮丼、「うお旅」…等
- 活用している地域資源：地魚、水産業
- 主な国等の支援策：農山漁村振興交付金（農泊推進対策）

取組の概要

- 生産者支援を目的に「糸島産のみしか使わない」「絶対に値下げ交渉をしない」をコンセプトとした飲食店を2店舗オープン。
- 「地魚BANK」、SNSオンライングループによる情報発信・会員との連携により、ビーチクリーンアップ活動や飲食・加工品メニュー開発を実施。
- 漁協を始めとする漁業関係者と連携し、「地魚博覧会」等のイベントを通じて、美しい伝統ある農山漁村を次世代に継承している。
- 糸島地魚ツーリズム推進協議会を設立。「うお旅」を企画し、農泊事業に取り組む。



地魚のみ使用の海鮮丼

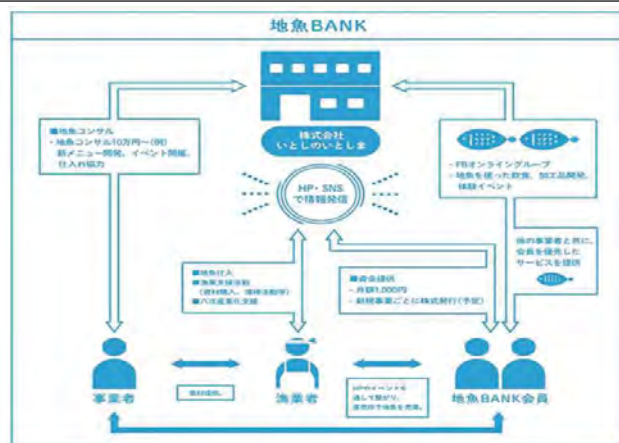


地魚博覧会の開催



伝統漁法について学び食する「うお旅」

体制図



取組の成果

- 飲食、加工事業の売上げは3千5百万円（R元）
- 地魚BANKのSNS会員数は、事業開始年度（H30年度）は100名、翌年のR元年度は300名と3倍に増加。



所在地▶福岡県糸島市志摩津和崎33番地1

連絡先▶TEL: 092-324-1022 FAX : 無し E-mail:itoshima39gmail.com

ウェブサイト▶ <http://zizakanabank.com>